

小学生向け「おもしろ理科実験講座—まが玉づくり」

12月5日（土）に中泉尾小学校と泉尾北小学校の小学生が、まが玉づくりに挑戦しました。小学1年生から6年生まで、両校合わせて31名の児童たちが、初めて入る高校の化学実験室で理科の田中敬太先生の実演指導を受けながら、約2時間をかけて各々手作りのまが玉を完成しました。

この講座は大正高校が新たな地域連携事業として呼びかけた公開講座で、小学生に理科実験の機会を提供し科学に興味を持ってもらいたいこと、そのために大正高校の教育力を活用してもらうこと、大正高校がさらに地域連携を深め地域に貢献することなど、幾重もの趣旨で開かれました。工程を簡単に説明すると、四角い滑石（かっせき）をまず40番の紙やすりでまが玉の形になるよう荒磨きをして、その後で80番から2000番の紙やすりを次々に換えながら、ピカピカになるまで磨き上げ、完成したらあらかじめあけてあった穴に革ひもを通します。

小学生はでき上がったまが玉を早速首からぶら下げて、満足げな様子でした。また付き添われた保護者の方々にも楽しい共同体験になったようです。回収したアンケートでも、ほとんどの児童が「うまくできた」、また全員の児童が「おもしろかった」と答えているなど、大変好評でした。大正高校では今回の結果をもとに、さらに工夫を加えてこの事業を継続していきたいと考えています。